



# 新たなる幕開け



## NISSAN STADIUM



# FUJIFILM SUPER CUP 2022



川崎F

2022年2月12日 13:35 / 日産スタジアム

浦和

日本テレビ系全国ネットで生中継

同日開催 NEXT GENERATION MATCH

川崎フロンターレU-18<sup>\*1</sup> vs. 日本高校サッカー選抜

\*1: 2021 明治安田生命 J1リーグ優勝クラブのアカデミーチーム

\*2: 第100回全国高校サッカー選手権大会の優秀選手を中心に選抜された選手で構成するチーム

主催: 公益財団法人 日本サッカー協会・公益社団法人 日本プロサッカーリーグ / 主管: 公益社団法人 日本プロサッカーリーグ・一般社団法人 神奈川県サッカー協会 / 特別協賛: 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社



あなたのビジネスは、どれくらい自由ですか。

働き方が、自由になった。どこにいても仕事ができるようになった。でも、本当にやりたいことができているだろうか？ 効率は？ チームの連携は？ 創造性は？ オフィスが人間の可能性を引き出すための場所だとすれば、できることはまだまだあるはずだ。いまこそ柔軟な発想で、現場から革新を。Apeos のソリューションが、ビジネスをもっと自由にする。地球全体がオフィスになる日も、近いかもしれない。

ビジネスの常識から、自由になる。  
**Document Innovation!**  
**Apeos**

**FUJIFILM**  
Value from Innovation

詳しくはWEBへ



富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社

# S u m m a r y

## 開催概要

大会名称	FUJIFILM SUPER CUP 2022
主催	公益財団法人 日本サッカー協会
	公益社団法人 日本プロサッカーリーグ
主管	公益社団法人 日本プロサッカーリーグ
	一般社団法人 神奈川県サッカー協会
特別協賛	富士フイルムビジネスソリューション株式会社
開催日	2022年2月12日(土)
キックオフ時間	13:35
会場	日産スタジアム
出場クラブ	川崎フロンターレ (2021 明治安田生命 J1 リークチャンピオン)
	vs 浦和レッズ (天皇杯 JFA 第101 回全日本サッカー選手権大会 優勝チーム)
テレビ中継	日本テレビ系全国ネットにて生中継
インターネット配信	TVer(生配信)
海外放映	Jリーグ公式国際版 YouTube 他での生配信・生中継

## Green Power WIND



本大会は、「富士フイルムビジネスソリューション株式会社」が所有する「グリーン電力証書※」(日本自然エネルギー株式会社発行の風力発電によるもの)を活用します。会場で使用する全電力(約19,000 kWh)を再生可能エネルギーでまかなうことで、地球温暖化対策の一助とし、環境への関心を高めることを目指します。

※風力や太陽光など再生可能エネルギーによる電気環境付加価値を、「グリーン電力証書」という形で取引するもの。

## 試合方式

試合時間	90分(前後半各45分)。勝敗が決しない場合はPK方式によって決定
選手交代人数	5名。各チーム交代数3回まで(ハーフタイム除く)
賞金	優勝チームには3000万円、準優勝チームには2000万円

※本誌で用いられるアルファベットの略号の意味は次の通りです。 GK=ゴールキーパー、DF=ディフェンダー、MF=ミッドフィルダー、FW=フォワード、CK=コーナーキック、FK=フリーキック、PK=ペナルティーキック

## Jリーグの最新情報はこちらをチェック!

FUJIFILM SUPER CUP 2022 の情報をはじめ、明治安田生命 J1、J2、J3 リークなど、Jリーグにまつわるすべての情報を公式サイトに掲載しています。全試合日程から試合の速報、選手名鑑、フォト、動画まで公式ならではのコンテンツが満載。各種 SNS も含めぜひご活用ください。

## ハッシュタグ「#Jリーグ」

	Jリーグ公式サイト <a href="https://www.jleague.jp">https://www.jleague.jp</a>
 Jリーグ公式 Facebook ページ (@jleagueofficial)	 Jリーグ公式 Instagram (@jleaguejp)
 Jリーグ公式 LINE (LINE ID:@j.league)	 Jリーグ公式 Twitter (@J_League)
 Jリーグ公式チャンネル (jleague channel)	

特に注記のない写真は ©J.LEAGUE  
この大会プログラムのデータは 2022 年 2 月 4 日時点のもの

## 今季から大会名称は新たに「FUJIFILM SUPER CUP」へ

### FUJIFILM SUPER CUP

シーズン開幕を告げるスーパーカップは 1994 年から開催。前年度の J リークチャンピオンチームと天皇杯優勝チームが対戦する。今シーズンより大会名称が「FUJIFILM SUPER CUP」に変更されたが、同一企業の協賛で最も長く開催されているサッカースーパーカップ大会「Longest sponsorship of a football (soccer) super cup」としてのギネス世界記録™の更新が認定されている。

G r e e t i n g s



公益財団法人  
日本サッカー協会  
会長

**田嶋 幸三**

Kohzo TASHIMA

FUJI XEROX SUPER CUP の名で親しまれ、シーズン開幕を告げる今大会として歴史を重ねてきた本大会は、今年から「FUJIFILM SUPER CUP」へと変わり、新たな一歩を踏み出しました。「同一企業の協賛で最も長く開催された大会」としてギネス世界記録™を更新中で、名実ともに日本サッカーを代表する大会として進化を続けています。

29 回目の開催となる今大会。出場を決めたのは、昨季の J1 リーグで圧倒的な強さを見せて 2 大会連続 4 度目の優勝を飾った川崎フロンターレと、天皇杯 JFA 第 101 回全日本サッカー選手権大会で歴代最多タイ 8 度目のチャンピオンとなった浦和レッズの対戦です。両チームがこの FUJIFILM SUPER CUP で対戦するのは 2019 年以来、3 年ぶり。川崎が 2 度目の勝利を手にするのか、浦和がリベンジを果たすのか、サポーターのボルテージも最高潮に達していることでしょう。

人気と実力を誇るチームの対戦だけに本大会の注目度

はもちろん、来週から幕を開ける J リーグへの期待も膨らみます。過去最高レベルの戦いが繰り広げられ、今季の J リーグのスタンダードとなることを期待しています。

また、この試合に先駆けて川崎フロンターレ U-18 と日本高校サッカー選抜による NEXT GENERATION MATCH も行われます。次代の日本サッカーを担うユース選手の対戦にもご注目ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、声による応援やハイタッチなどはできませんが、お客さまの存在が選手たちに大きな力を与えてくれます。多くのサッカーファンが安全に安心してサッカーを楽しめるよう、引き続き、観戦マナーとルールの順守をお願いします。

最後になりましたが、長きにわたりご支援いただいております富士フイルムビジネスイノベーション株式会社をはじめ、コロナ禍の厳しい状況下で運営にご尽力いただいている関係者の皆さまに、心からの敬意と感謝を申し上げます。



公益社団法人  
日本プロサッカーリーグ  
チェアマン

**村井 満**

Mitsuru MURAI

J リーグ開幕を告げる「FUJIFILM SUPER CUP」。キックオフの笛が鳴る瞬間がやってきました。

30 回目の J リーグとなる今年、J リーグチャンピオンと天皇杯覇者が激突するスーパーカップは新たな大会名称となりました。また本大会は、同一企業の協賛で最も長く開催されたスーパーカップ大会としてのギネス世界記録™を更新しています。

今年は、昨シーズン明治安田生命 J1 リーグ連覇を遂げ、さらに 3 連覇を狙う川崎フロンターレと天皇杯 JFA 第 101 回全日本サッカー選手権大会を制した浦和レッズ、まさに J リーグの幕開けにふさわしい対戦となりました。川崎フロンターレは本大会の連覇を遂げることに、リーグ戦に向けた好スタートを狙っているでしょう。また、2006 年以降の本大会制覇、リーグ優勝を狙う浦和レッズ。多くの新戦力が加入した新チームのパフォーマンスに期待が高まります。

また今年も、川崎フロンターレ U-18 と日本高校サッカー選抜による親善試合「NEXT GENERATION MATCH」を開催いたします。J リーグでは「世界でもっとも人が育つリーグ」を掲げるフットボールビジョンの実現に向け、日本の選手育成を世界水準へ高める取り組みを強化しています。かつて 2002 FIFA ワールドカップ決勝の地となった日産スタジアムでのプレーの場を提供できることも、育成年代にとって貴重な経験になると考えております。

今シーズンも、多くのファン・サポーターの皆様が安心して試合をお楽しみいただけるよう万全の感染対策をとり、安全な大会運営を重ねてまいります。最後になりましたが、長きにわたり特別協賛として大会をご支援いただいている富士フイルムビジネスイノベーション株式会社、また開催実現にご尽力いただいた関係者の皆様により心より御礼申し上げます。



富士フイルムビジネス  
イノベーション株式会社  
代表取締役社長・CEO

**真茅 久則**

Hisanori MAKAYA

2022 年の J リーグ開幕を告げる「FUJIFILM SUPER CUP 2022」へお越しいただき、誠にありがとうございます。長年にわたるファン・サポーターの皆様の温かいご支援、また、一昨年から続くコロナ禍の中でも関係各位による多大なるご尽力により、29 回目の大会を迎えられたことは、私どもにとって大きな喜びとするところです。

当社は、豊かなコミュニケーションを通して世界の人々との相互信頼と文化の発展に貢献していくことを目指しています。そして、サッカーをはじめとするスポーツが、「国や民族、言語、文化の違いを超えて感動を呼び、人々の心を結びつける人類共通のコミュニケーションの一つ」という考えのもと、今後も日本サッカーのさらなる発展を見守ってまいります。

私たちは昨年 4 月に富士フイルムビジネスイノベーションに社名変更し、今大会から「FUJIFILM SUPER CUP」という大会名として新たな一歩を踏み出しました。日本のサッカーが挑戦と進化を続けてきたように、「ビジ

ネスに革新をもたらす存在であり続ける」という思いで、私たちが挑戦を続けます。そして、これからも J リーグをサポートするパートナーであり続けたいと考えております。

2 年連続で明治安田生命 J1 リーグチャンピオンの座を獲得した川崎フロンターレと、2018 年大会以来 4 年ぶりに天皇杯 JFA 全日本サッカー選手権大会を制した浦和レッズの両チームによる戦いは、3 年ぶりの組み合わせです。まさに、「頂上決戦」と呼ぶに相応しい好カードであり、卓越したプレーを披露してくれるものと期待しています。

最後に、ファン・サポーターの皆様の感動と喜びの輪の広がるシーズンに向け、今大会の成功を祈念いたしますとともに、大会の開催にあたり多大なご尽力をいただきました公益財団法人 日本サッカー協会、公益社団法人 日本プロサッカーリーグ、ならびに関係各位に深く感謝申し上げます。

1994 - 2021

# The History

## 歴史に刻まれし王者の闘い

29回目の開催を迎える FUJIFILM SUPER CUP。過去の対戦カードを眺めるのは楽しいものだ。Jリーグの勢力図の移り変わりを一望できる。

今回対戦する川崎フロンターレと浦和レッズの本大会初出場は、それぞれ2018年と2006年だ。

長年あと一歩でタイトルを取れず苦しんできた川崎Fが初めてリーグ優勝を果たしたのが2017年。その翌年にこの舞台に立ってから、今年を含めて直近5年で4度の出場とまさに黄金時代の真っ只中にある。一方の浦和は2005年に天皇杯を制して翌2006年に初出場。続く2007年にはリーグチャンピオンとして出場しており、当時の繁栄ぶりが鮮やかに思い出される。

### Results

年	Jリーグチャンピオン	スコア	天皇杯優勝
1994	ヴェルディ川崎	2-1	横浜フリューゲルス
1995	ヴェルディ川崎	2-2 (PK4-2)	ベルマーレ平塚
1996	横浜マリノス	0-2	名古屋グランパスエイト
1997	鹿島アントラーズ	3-2	ヴェルディ川崎
1998	ジュビロ磐田	1-2	鹿島アントラーズ
1999	鹿島アントラーズ	2-1	清水エスパルス (*1)
2000	ジュビロ磐田	1-1 (PK3-2)	名古屋グランパスエイト
2001	鹿島アントラーズ	0-3	清水エスパルス (*2)
2002	鹿島アントラーズ	1-1 (PK4-5)	清水エスパルス
2003	ジュビロ磐田	3-0	京都パープルサンガ
2004	横浜F・マリノス	1-1 (PK2-4)	ジュビロ磐田
2005	横浜F・マリノス	2-2 (PK4-5)	東京ヴェルディ1969
2006	ガンバ大阪	1-3	浦和レッズ
2007	浦和レッズ	0-4	ガンバ大阪 (*2)
2008	鹿島アントラーズ	2-2 (PK3-4)	サンフレッチェ広島 (*2)
2009	鹿島アントラーズ	3-0	ガンバ大阪
2010	鹿島アントラーズ	1-1 (PK5-3)	ガンバ大阪
2011	名古屋グランパス	1-1 (PK3-1)	鹿島アントラーズ
2012	柏レイソル	2-1	FC東京
2013	サンフレッチェ広島	1-0	柏レイソル
2014	サンフレッチェ広島	2-0	横浜F・マリノス
2015	ガンバ大阪	2-0	浦和レッズ (*3)
2016	サンフレッチェ広島	3-1	ガンバ大阪
2017	鹿島アントラーズ	3-2	浦和レッズ (*3)
2018	川崎フロンターレ	2-3	セレッソ大阪
2019	川崎フロンターレ	1-0	浦和レッズ
2020	横浜F・マリノス	3-3 (PK2-3)	ヴィッセル神戸
2021	川崎フロンターレ	2-1	ガンバ大阪 (*3)

(\*1) 天皇杯優勝チームの横浜フリューゲルスが、横浜マリノスと合併したため、天皇杯準優勝の清水エスパルスが出場

(\*2) Jリーグチャンピオンと天皇杯優勝チームが同一のため、天皇杯準優勝チームが出場

(\*3) Jリーグチャンピオンと天皇杯優勝チームが同一のため、Jリーグ2位チームが出場

## 2006 URAWA REDS



2005年の天皇杯を制した浦和。2006年にSUPER CUP初出場

## 2018 KAWASAKI FRONTALE



川崎Fは2017年に悲願のリーグ制覇を果たし2018年にSUPER CUP初出場



©Yoichi IWATA

中村 憲剛 (なかむら・けんご)  
1980年10月31日生まれ。東京都出身。中央大学を卒業後、2003年より川崎フロンターレに所属し、2020シーズン限りで現役を引退するまで川崎F一筋でプレーした。元日本代表MF。現在は育成年代の始動や解説活動を通じてサッカー界の発展に努めている。

阿部 勇樹 (あべ・ゆうき)  
1981年9月6日生まれ。千葉県出身。現役時代はジェフユナイテッド市原・千葉、浦和レッズ、レスター(イングランド)でプレーし、2021シーズン限りで現役を引退。元日本代表MF。今シーズンから浦和ユースのコーチを務める。

どのチームも「どうやって川崎Fを止めるか」を考えている

# 中村憲剛 × 阿部勇樹

Kengo NAKAMURA



Yuki ABE



—FUJIFILM SUPER CUPはJリーグのシーズン開始を告げる大会として認識されていますが、この大会に対してどういう印象をお持ちですか。

**中村**「キャンプを含めてプレシーズンでやってきたことを、まず最初に発揮する場所。なおかつタイトルマッチなので、そこでしっかり勝つことで、ここから1年いいスタートを切れるようにいい取り組み、いい準備をして臨む。そういう位置づけでした」

**阿部**「川崎Fと浦和のサポーターのみなさんだけでなく、Jリーグの多くのサポーターの皆さんが注目している試合だと思います。この試合がその後のリーグ戦などにつながっていくと思いますし、現役を引退して、今回こういった形で迎えても同じように感じるので、素晴らしい大会だなと思います」

—川崎Fと浦和の対戦は19年以来3年ぶりとなります。

**中村**「19年はリーグ戦の3連覇を目指すシーズンでしたので、チームとして内容と結果を求めて戦いました。阿部さんの言われるようにサッカーファンの皆さんが注目する試合でもあるので、自分たちが今シーズン、どういサッカーをするのかを見せようと鬼木監督も話されていました。当時新加入のレアンドロ・ダミアン選手がゴールを決めて、彼自身もそこから

勢いに乗れましたし、いいスタートを切れた大会だったと思います」

**阿部**「僕はこの大会に4回出場させていただいていますが、1回も勝ててないんですね(苦笑)。僕自身は優勝カップを掲げることができなかったのが、今年こそは頑張してほしいなと思います。19年は後半から出場して、ちょうど中村憲剛さんをマークしていたことを覚えています」

**中村**「川崎Fは再びリーグ3連覇を目指すシーズンになりますが、どのクラブもそれをさせたくないという包囲網を敷いてくると思います。それに対してどういう気持ちで臨むか、鬼木監督がマネジメントしてくるでしょうし、選手たちも強い気持ちを見せてくれると思います。浦和もすぐ力をつけてきていますので、間違いなく面白い試合になると思います」

**阿部**「どのチームも、『どうやって川崎Fを止めるか』を考えていると思いますが、それを浦和が今年最初の試合でお見せできるんじゃないかと思っています。浦和は多くの選手が入れ替わりましたが、3年計画の最終年としてリーグ戦優勝を目指す中で、昨年以上に躍動する姿を見せてくれると思います。当日、現地で応援して下さる方に『浦和は素晴らしいな』と言われるようなサッカーを期待しています」

## KAWASAKI

王者の行進を  
阻むのは？

## 「ストップ・ザ・フロンターレ」に浦和が挑む



2022シーズンのJリーグ最大の見どころは、リーグ3連覇を目指す最強王者・川崎フロンターレを止めるチームは出てくるのか、だ。その行方を占う最初の一戦が、今年のFUJIFILM SUPER CUPである。

挑戦者は浦和レッズ。「ストップ・ザ・フロンターレ」の最有力候補の一つと言っていだろう。リカルド・ロドリゲス監督が就任初年度だった昨シーズンは世代交代を進めながらチームのベースを築いていき、シーズン最終戦となった天皇杯決勝でタイトルをもぎ取った。そして迎える今シーズンはリーグ優勝を優先順位の一番上に置く「勝負のシーズン」と宣言している。

昨季、両チームはリーグ戦とカップ戦で4度対戦。シーズン序盤の最初の対戦（J1第6節）こそ川崎Fが5-0の圧勝を飾ったものの、「リカルド・レッズ」の成熟度が高まったシーズン後半戦の3試合はドロー。圧倒的なボール支配とゴール前の破壊力を誇る川崎Fに対し、浦和は勇気を持って前線からプレスを掛けて粘り強く戦った。迎える今回のFUJIFILM SUPER CUPも試合展開は同様になると想定されるが、ともに選手の入れ替わりがあるだけに、一つのボタンの掛け違いで構図が崩れる可能性もある。どんなメンバーが先発に名を連ねるのか、昨季からフォーメーションの形は変わるのか。試合前から興味が尽きない注目の一戦だ。

## 2021シーズン対戦結果

明治安田生命J1リーグ 第6節  
2021年3月21日(日)  
埼玉スタジアム2002

浦和 0 - 5 川崎F

【得点者】

(川崎F) 42' 小林 悠  
49' レアンドロ ダミアン  
51' 旗手 怜央  
53' 小林 悠  
67' 脇坂 泰斗

JリーグYBCルヴァンカップ  
プライムステージ 準々決勝 第1戦  
2021年9月1日(水)  
浦和駒場スタジアム

浦和 1 - 1 川崎F

【得点者】

(浦和) 35' 関根 貴大  
(川崎F) 72' 家長 昭博

JリーグYBCルヴァンカップ  
プライムステージ 準々決勝 第2戦  
2021年9月5日(日)  
等々力陸上競技場

川崎F 3 - 3 浦和

【得点者】

(川崎F) 40' レアンドロ ダミアン  
77' 山村 和也  
83' ジョアン シミッチ  
(浦和) 8' 江坂 任  
87' キャスパー ユンカー  
90+4' 槇野 智章

明治安田生命J1リーグ 第34節  
2021年11月3日(水・祝)  
等々力陸上競技場

川崎F 1 - 1 浦和

【得点者】

(川崎F) 33' ジェジエウ  
(浦和) 89' 酒井 宏樹



## 2021 明治安田生命 J1リーグチャンピオン

# 川崎フロンターレ

KAWASAKI FRONTALE

### CLUB PROFILE

- ホームタウン／神奈川県川崎市
- ホームスタジアム／等々力陸上競技場
- クラブカラー／サックスブルー、ブラック、ホワイト
- タイトル／J1リーグ (2017, 2018, 2020, 2021) J2リーグ (1999, 2004) YBC ルヴァンカップ (2019) 天皇杯 (2020)
- クラブ名由来／フロンターレ (FRONTALE) とは、イタリア語で「正面」「前飾り」の意味。これは常に最前線で挑戦し続けるフロンティアスピリッツ、正面から正々堂々と戦う姿勢を表現したものだ。

## 圧倒して勝つ。今季もビジョンは変わらない

昨季の主力だった旗手怜央がセルティックに移籍したが、そのほかの主力は残留した。チームのベースはそのままに、札幌からチャナティップ、横浜FCから瀬古樹という実力者を補強。さらに昨年度関東大学リーグ MVP の佐々木旭を流通経済大から、世代別代表にも選出される松井蓮之を法政大から獲得した。1月には日本代表活動に谷口彰悟、山根視来、脇坂泰斗が合流したために主力全員がそろって練習する機会にはなかったものの、長期離脱中のジェジュエ以外の外国籍選手も合流しており充実した練習を続けている。

今季も全タイトル獲得が目標だが、特にリーグ3連覇、ACL初制覇へのモチベーションは高い。そのためにも、過密日程が続く序盤でのスタートダッシュは必須。だからこそ、このFUJIFILM SUPER CUPでの出来も重要視される。各チームのマークも一層厳しくなるだろうが、「1試合に3点は変わらず狙いたい」と鬼木達監督。「圧倒して勝つ」。今季もそのビジョンをもって試合に臨む。

(田中直希)

### 移籍情報

※2月4日時点でのJリーグオフィシャルサイトによる

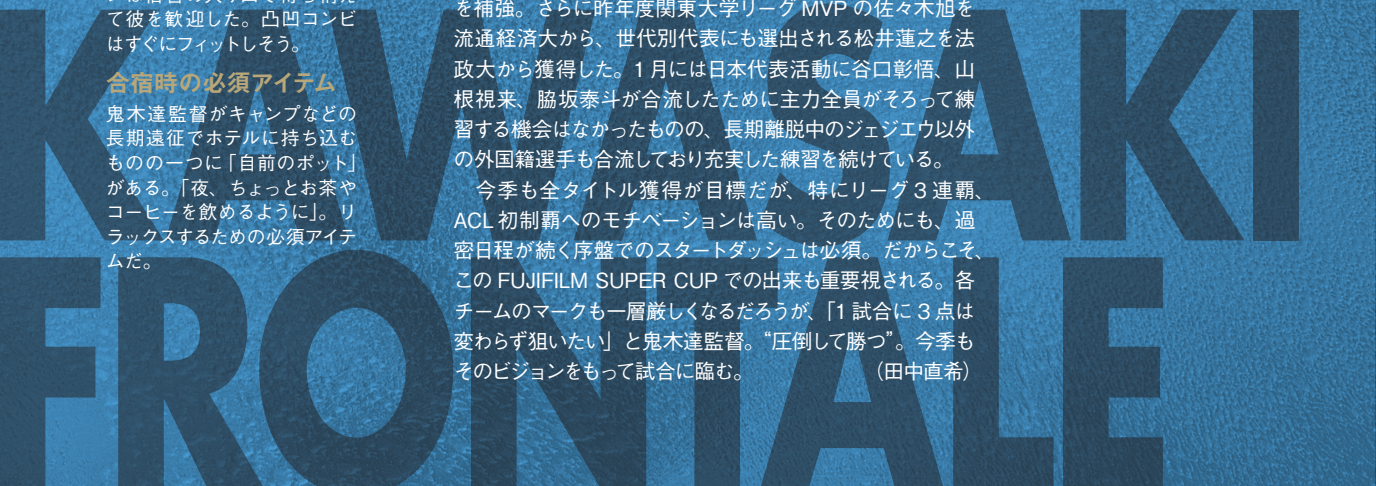
- IN**
- GK 早坂 勇希 [←桐蔭横浜大学]
  - DF 佐々木 旭 [←流通経済大学]
  - MF チャナティップ [←札幌]
  - MF 瀬古 樹 [←横浜FC]
  - MF 松井 蓮之 [←法政大学]
  - FW 五十嵐 太陽 [←川崎F.U-18 / トップ昇格]
  - FW 永長 鷹虎 [←興国高校]

- OUT**
- GK イキョント [←岡山 / 復帰]
  - DF マギーニョ [←Goias E.C. (BRA)]
  - DF 神谷 凱士 [←藤枝 / 期限付き移籍]
  - DF イサカ セイン [←横浜FC / 期限付き移籍]
  - MF 原田 虹輝 [←長野 / 期限付き移籍]
  - MF 長谷川 竜也 [←横浜FC]
  - FW 旗手 怜央 [←セルティックFC (SCO)]
  - FW 宮代 大聖 [←鳥栖 / 期限付き移籍]

### 番記者メモ

**チャナティップのामीーゴ**  
チャナティップの「ামীーゴ(友達)」はレアンドロ・ダミアン。26日のチーム合流時、ダミアンは宿舎の入り口で待ち構えて彼を歓迎した。凸凹コンビはすぐにフィットしそう。

**合宿時の必須アイテム**  
鬼木達監督がキャンプなどの長期遠征でホテルに持ち込むものの一つに「自前のポット」がある。「夜、ちょっとお茶やコーヒーを飲めるように」。リラックスするための必須アイテムだ。





# KAWASAKI FRONTALE PLAYERS FILE

監督  
鬼木 達  
ONIKI Toru



①生年月日 ②出生地(※外国籍選手は国籍) ③身長/体重 ④前所属チーム ⑤ストロングポイント

 <p><b>1</b> GK</p> <p>チョン ソンリョン JUNG Sung Ryong</p> <p>① 1985.1.4 ② 大韓民国 ③ 191cm/91kg ④ 水原三星(韓国) ⑤ 超人的なシュートストップ</p>	 <p><b>2</b> DF</p> <p>登里 享平 NOBORIZATO Kyohei</p> <p>① 1990.11.13 ② 大阪府 ③ 168cm/68kg ④ 香川西高 ⑤ 左SBからのゲームメイク</p>	 <p><b>3</b> MF</p> <p>塚川 孝輝 TSUKAGAWA Koki</p> <p>① 1994.7.16 ② 広島県 ③ 184cm/80kg ④ 松本山雅FC ⑤ 体軀を生かした際際の強さ</p>	 <p><b>4</b> DF</p> <p>ジェジェウ JESIEL</p> <p>① 1994.3.5 ② ブラジル ③ 186cm/84kg ④ アトレチコ・ミネイロ(ブラジル) ⑤ 高さ、速さ、強さの三拍子</p>	 <p><b>5</b> DF</p> <p>谷口 彰悟 TANIGUCHI Shogo</p> <p>① 1991.7.15 ② 熊本県 ③ 183cm/75kg ④ 筑波大 ⑤ DFに必要な全能力値の高さ</p>	 <p><b>6</b> MF</p> <p>ジョアン シミッチ JOAO SCHMIDT</p> <p>① 1993.5.19 ② ブラジル ③ 183cm/80kg ④ 名古屋グランパス ⑤ 左足からの縦パス、展開力</p>
 <p><b>7</b> DF</p> <p>車屋 紳太郎 KURUMAYA Shintaro</p> <p>① 1992.4.5 ② 熊本県 ③ 178cm/75kg ④ 筑波大 ⑤ 視野の広さ、ビルドアップ</p>	 <p><b>8</b> MF</p> <p>橘田 健人 TACHIBANA Kento</p> <p>① 1998.5.29 ② 鹿児島県 ③ 169cm/68kg ④ 桐蔭横浜大 ⑤ 守備の読みとクイックネス</p>	 <p><b>9</b> FW</p> <p>レアンドロ ダミアン LEANDRO DAMIAO</p> <p>① 1989.7.22 ② ブラジル ③ 188cm/90kg ④ インテルナシオナル(ブラジル) ⑤ ボックス内の圧倒的決定力</p>	 <p><b>10</b> MF</p> <p>大島 僚太 OSHIMA Ryota</p> <p>① 1993.1.23 ② 静岡県 ③ 168cm/64kg ④ 静岡学園高 ⑤ 日本トップ級の攻撃センス</p>	 <p><b>11</b> FW</p> <p>小林 悠 KOBAYASHI Yu</p> <p>① 1987.9.23 ② 東京都 ③ 177cm/72kg ④ 拓殖大 ⑤ 一撃必殺。ゴールへの嗅覚</p>	 <p><b>13</b> DF</p> <p>山根 視来 YAMANE Miki</p> <p>① 1993.12.22 ② 神奈川県 ③ 178cm/72kg ④ 湘南ベルマーレ ⑤ タフな守備と1対1の強さ</p>
 <p><b>14</b> MF</p> <p>脇坂 泰斗 WAKIZAKA Yasuto</p> <p>① 1995.6.11 ② 神奈川県 ③ 173cm/69kg ④ 阪南大 ⑤ 足元の技巧と両足のキック</p>	 <p><b>15</b> DF</p> <p>佐々木 旭 SASAKI Asahi</p> <p>① 2000.1.26 <b>NEW</b> ② 埼玉県 ③ 170cm/72kg ④ 流通経済大 ⑤ ユーティリティ性と推進力</p>	 <p><b>16</b> MF</p> <p>瀬古 樹 SEKO Tatsuki</p> <p>① 1997.12.22 <b>NEW</b> ② 東京都 ③ 175cm/69kg ④ 横浜FC ⑤ 頭脳的プレーとキック精度</p>	 <p><b>17</b> MF</p> <p>小塚 和季 KOZUKA Kazuki</p> <p>① 1994.8.2 ② 新潟県 ③ 173cm/68kg ④ 大分トリニータ ⑤ ファンタジーあふれるパス</p>	 <p><b>18</b> MF</p> <p>チャナティップ CHANATHIP</p> <p>① 1993.10.5 <b>NEW</b> ② タイ ③ 158cm/56kg ④ 北海道コンサドーレ札幌 ⑤ 抜群のクイックネスで打開</p>	 <p><b>19</b> FW</p> <p>遠野 大弥 TONO Daiya</p> <p>① 1999.3.14 ② 静岡県 ③ 166cm/66kg ④ アビスパ福岡 ⑤ 好機演出力と両足シュート</p>
 <p><b>20</b> FW</p> <p>知念 慶 CHINEN Kei</p> <p>① 1995.3.17 ② 沖縄県 ③ 177cm/73kg ④ 大分トリニータ ⑤ ゴール前での力強いプレー</p>	 <p><b>21</b> GK</p> <p>安藤 駿介 ANDO Shunsuke</p> <p>① 1999.8.10 ② 東京都 ③ 185cm/81kg ④ 湘南ベルマーレ ⑤ 安定感あり。09年から在籍</p>	 <p><b>22</b> GK</p> <p>早坂 勇希 HAYASAKA Yuki</p> <p>① 1999.5.22 <b>NEW</b> ② 東京都 ③ 184cm/78kg ④ 桐蔭横浜大 ⑤ 川崎愛とシュートストップ</p>	 <p><b>23</b> FW</p> <p>マルシーニョ MARCINHO</p> <p>① 1995.5.16 ② ブラジル ③ 173cm/64kg ④ 重慶両江(中国) ⑤ スピード生かしたドリブル</p>	 <p><b>24</b> FW</p> <p>宮城 天 MIYAGI Ten</p> <p>① 2001.6.2 ② 神奈川県 ③ 177cm/70kg ④ カターレ富山 ⑤ ドリブル突破と強烈な右足</p>	 <p><b>25</b> MF</p> <p>松井 蓮之 MATSUI Renji</p> <p>① 2000.2.27 <b>NEW</b> ② 福島県 ③ 178cm/73kg ④ 法政大 ⑤ 生きぬき体力と泥臭いプレー</p>
 <p><b>26</b> MF</p> <p>永長 鷹虎 EINAGA Takatora</p> <p>① 2003.4.7 <b>NEW</b> ② 兵庫県 ③ 168cm/60kg ④ 興国高 ⑤ ドリブル能力とキック精度</p>	 <p><b>27</b> GK</p> <p>丹野 研太 TANNO Kenia</p> <p>① 1986.8.30 ② 宮城県 ③ 186cm/80kg ④ セレッソ大阪 ⑤ 野太いコーチングと集中力</p>	 <p><b>28</b> FW</p> <p>五十嵐 太陽 IGARASHI Taiyo</p> <p>① 2003.4.14 <b>NEW</b> ② 神奈川県 ③ 172cm/60kg ④ 川崎F.U-18 ⑤ 高い技術、攻撃のビジョン</p>	 <p><b>30</b> DF</p> <p>田邊 秀斗 TANABE Shuto</p> <p>① 2002.5.5 ② 京都府 ③ 180cm/73kg ④ 静岡学園高 ⑤ 身体能力、技術、落ち着き</p>	 <p><b>31</b> MF</p> <p>山村 和也 YAMAMURA Kazuya</p> <p>① 1989.12.2 ② 長崎県 ③ 186cm/80kg ④ セレッソ大阪 ⑤ 冷静なビルドアップと経験</p>	 <p><b>41</b> MF</p> <p>家長 昭博 IENAGA Akihiro</p> <p>① 1986.6.13 ② 兵庫県 ③ 173cm/70kg ④ 大宮アルディージャ ⑤ 抜群のキープ力と好機演出</p>



天皇杯 JFA 第101回全日本サッカー選手権大会



天皇杯 JFA 第101回全日本サッカー選手権大会 優勝チーム

# 浦和レッズ

URAWA REDS

CLUB PROFILE

- ホームタウン/埼玉県さいたま市
- ホームスタジアム/埼玉スタジアム2002
- クラブカラー/レッド
- タイトル/J1リーグ(2006) YBC ルヴァンカップ(2003、2016) 天皇杯(2005、2006、2018、2021) AFC チャンピオンズリーグ(2007、2017)
- クラブ名由来/レッドダイヤモンドズ(レッズ)は「ダイヤモンド」の最上の輝き、何物にも傷つけられない強さ、固い結束力。また、浦和を舞台とした漫画「赤き血のイレブン」もカラーが赤で、前身の三菱サッカー部のユニホームも赤だった。

番記者 @MEME

裸足派が拡大中

始動日に松崎快が裸足でクールダウンを行っていたかと思えば、沖縄キャンプでは平野佑一と牲川歩見ほか複数人の裸足姿が。元・水戸勢を中心に裸足派が拡大している。

先輩からのアドバイス

2年目の伊藤敦樹と新人の宮本優太。ランニングをしながら伊藤がアドバイスを送っている様子なので聞き耳を立ててみると…「だからこそドラマ式だよ」。家電の話だろうか。

## 勝負の年。最初の公式戦でインパクトを

3年計画の3年目、勝負の年となる。昨シーズンからオフにかけて多くの選手に別れを告げ、今季は総勢12名の新加入選手を補強。リカルド・ロドリゲス監督体制も2年目を迎え、成熟のシーズンかつ「結実の年」(西野努テクニカルダイレクター)に挑む。

チームは始動してすぐに沖縄へと飛び、約3週間のキャンプを張った。「分かっているはずだ」という前提ではなく、ゼロからコンセプトを伝えていきたい(リカルド監督)としながらも、昨季を経験している選手たちの理解度の高さもあってスムーズに戦術が浸透。昨季とは違ったフォーメーション、より高度なビルドアップや崩しにも取り組んできた。

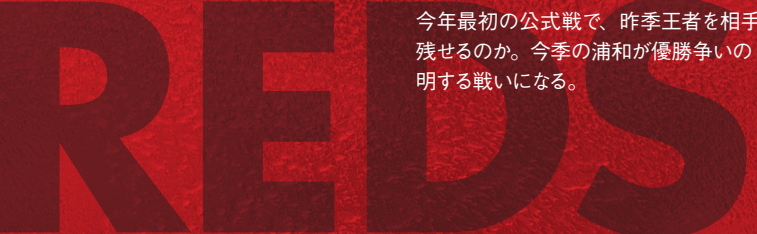
そして迎える今回のFUJIFILM SUPER CUPは、リーグ優勝を目指すクラブにとって避けては通れない、むしろ望ましい対戦だ。今年最初の公式戦で、昨季王者を相手にどれだけのインパクトを残せるのか。今季の浦和が優勝争いの「有資格者」であることを証明する戦いになる。(沖永 雄一郎)

移籍情報

※2月4日時点でのJリーグ公式サイトによる

- IN**
- GK 牲川 歩見 [←水戸]
  - DF 知念 哲矢 [←琉球]
  - DF 大畑 步夢 [←鳥栖]
  - DF 大銅 智也 [←鹿島]
  - DF 馬渡 和彰 [←大宮]
  - MF 岩尾 憲 [←徳島/期限付き]
  - MF ダヴィド モーベルク [←スバルタ・プラハ(CHE)]
  - MF 松尾 佑介 [←横浜FC]
  - MF 松崎 快 [←水戸]
  - MF 安居 海渡 [←流通経済大]
  - MF 宮本 優太 [←流通経済大]
  - FW 木原 励 [←京都橘高]

- OUT**
- GK 塩田 仁史 [→引退]
  - GK 福島 春樹 [→未定]
  - DF 西 大伍 [→札幌]
  - DF トーマス デン [→新潟]
  - DF 橋岡 大樹 [→シント＝トロイデン(BEL)]
  - DF 大城 蛍 [→愛媛]
  - DF 福島 竜弥 [→相模原]
  - DF 山中 亮輔 [→C大阪]
  - DF 横野 智章 [→神戸]
  - MF 宇賀神 友弥 [→岐阜]
  - MF 池 尚希 [→北九州]
  - MF 汰木 康也 [→神戸]
  - MF 金子 大毅 [→京都]
  - MF 武田 英寿 [→大宮]
  - MF 田中 達也 [→福岡]
  - MF 伊藤 涼太郎 [→新潟]
  - MF 阿部 勇樹 [→引退]
  - FW 木下 康介 [→水戸]
  - FW 杉本 健勇 [→磐田/期限付き移籍]
  - FW 興根 慎三 [→札幌/期限付き移籍]



# URAWA REDS PLAYERS FILE

監督

リカルド ロドリゲス  
RICARDO RODRIGUEZ



①生年月日 ②出生地 (※外国籍選手は国籍) ③身長 / 体重 ④前所属チーム ⑤ストロングポイント

 <b>1</b> GK 西川 周作 NISHIKAWA Shusaku ① 1986.6.18 ② 大分県 ③ 183cm/81kg ④ サンフレッチェ広島 ⑤ 止むことのない向上心	 <b>2</b> DF 酒井 宏樹 SAKAI Hiroki ① 1990.4.12 ② 長野県 ③ 185cm/78kg ④ マルセイユ(フランス) ⑤ 世界レベルの精神と肉体	 <b>3</b> MF 伊藤 敦樹 ITO Atsuki ① 1998.8.11 ② 埼玉県 ③ 182cm/78kg ④ 流通経済大 ⑤ BOX to BOX	 <b>4</b> DF 岩波 拓也 IWANAMI Takuya ① 1994.6.18 ② 兵庫県 ③ 186cm/72kg ④ ヴィッセル神戸 ⑤ 長射程のロングフィード	 <b>6</b> DF 馬渡 和彰 MAWATARI Kazuaki ① 1991.6.23 ② 東京都 ③ 175cm/72kg ④ 大宮アルディージャ ⑤ 戦術理解度と強メンタル	 <b>7</b> FW キャスパー ユンカー KASPER JUNKER ① 1994.3.5 ② デンマーク ③ 186cm/73kg ④ FKボネ/グリムト(バルギー) ⑤ 欧州基準のゴールセンス
 <b>8</b> MF 小泉 佳穂 KOIZUMI Yoshio ① 1996.10.5 ② 東京都 ③ 172cm/63kg ④ FC 琉球 ⑤ 常に相手の逆を取るプレー	 <b>10</b> MF ダヴィド モーベルグ DAVID MOBERG ① 1994.3.20 ② スウェーデン ③ 179cm/74kg ④ スマルタ・ブラハ(チェコ) ⑤ スピード&フェイント	 <b>11</b> MF 松尾 佑介 MATSUO Yusuuke ① 1997.7.23 ② 埼玉県 ③ 170cm/65kg ④ 横浜 FC ⑤ 背後へのスピードと意識	 <b>12</b> GK 鈴木 彩艶 SUZUKI Zion ① 2002.8.21 ② 米国 ③ 190cm/91kg ④ 浦和ユース ⑤ 無限大のポテンシャル	 <b>13</b> DF 犬飼 智也 INUKAI Tomoya ① 1993.5.12 ② 静岡県 ③ 182cm/77kg ④ 鹿島アントラーズ ⑤ 前への鋭い潰しと読み	 <b>14</b> MF 関根 貴大 SEKINE Takahiro ① 1995.4/19 ② 埼玉県 ③ 167cm/61kg ④ シントロイデン(バルギー) ⑤ 浦和の魂の継承者
 <b>15</b> MF 明本 考浩 AKIMOTO Takahiro ① 1998.1.31 ② 栃木県 ③ 170cm/65kg ④ 栃木 SC ⑤ 使用回数無制限の推進力	 <b>16</b> GK 牲川 歩見 NIEKAWA Ayumi ① 1994.5.12 ② 静岡県 ③ 175cm/90kg ④ 水戸ホーリーホック ⑤ 高到達点のハイボール対応	 <b>19</b> MF 岩尾 憲 IWAOKI Ken ① 1988.4.18 ② 群馬県 ③ 175cm/65kg ④ 徳島ヴォルティス ⑤ 思慮深さと影響力	 <b>20</b> DF 知念 哲矢 CHINEN Tetsuya ① 1997.11.8 ② 沖縄県 ③ 178cm/70kg ④ FC 琉球 ⑤ パワー自慢の1対1守備	 <b>21</b> MF 大久保 智明 OKUBO Tomoaki ① 1998.7.23 ② 東京都 ③ 170cm/62kg ④ 中央大 ⑤ サイドからの縦横の仕掛け	 <b>22</b> MF 柴戸 海 SHIBATO Kai ① 1995.11.24 ② 神奈川県 ③ 180cm/61kg ④ 明治大 ⑤ 広大な守備範囲と奪取力
 <b>24</b> DF 宮本 優大 MIYAMOTO Yuta ① 1999.12.15 ② 東京都 ③ 170cm/70kg ④ 流通経済大 ⑤ チーム内でも別格の走力	 <b>25</b> MF 安居 海渡 YASUI Kaito ① 2000.2.9 ② 埼玉県 ③ 174cm/69kg ④ 流通経済大 ⑤ 攻守万能のマルチタスク	 <b>26</b> FW 木原 励 KIHARA Rei ① 2003.6.4 ② 大阪府 ③ 180cm/68kg ④ 京都橘高 ⑤ 裏抜けとシュートセンス	 <b>27</b> MF 松崎 快 MATSUZAKI Kai ① 1997.11.22 ② 埼玉県 ③ 172cm/70kg ④ 水戸ホーリーホック ⑤ ドリブル、ターン、頭脳	 <b>28</b> DF アレクサンダー ショルツ ALEXANDER SCHOLZ ① 1992.10.24 ② デンマーク ③ 189cm/84kg ④ ミッティラン(デンマーク) ⑤ 鉄壁の守備と攻撃スイッチ	 <b>33</b> MF 江坂 任 ESAKA Ataru ① 1992.5.31 ② 兵庫県 ③ 175cm/67kg ④ 柏レイソル ⑤ 抜群の技術と万能性
 <b>40</b> MF 平野 佑一 HIRANO Yuichi ① 1996.3.11 ② 東京都 ③ 174cm/68kg ④ 水戸ホーリーホック ⑤ 頭脳的なゲーム支配	 <b>42</b> DF 工藤 孝太 KUDO Kota ① 2003.8.13 ② 和歌山県 ③ 180cm/72kg ④ 浦和ユース ⑤ キックに優れたレフティ	 <b>44</b> DF 大畑 歩夢 OHATA Ayumu ① 2001.4.27 ② 福岡県 ③ 168cm/65kg ④ サガン鳥栖 ⑤ フィジカル×戦術理解			

# NEXT GENERATION MATCH



昨年は川崎フロンターレ U-18 が 2-1 で勝利

今年の NEXT GENERATION MATCH は昨年同様のカード、川崎フロンターレ U-18 と日本高校サッカー選抜の対戦に。日本サッカー界の未来を担う原石たちの競演に注目だ。

開催日	2022年2月12日(土)
キックオフ時刻	10:20
会場	日産スタジアム
出場クラブ	川崎フロンターレ U-18 (※ 2021 明治安田生命 J1 リーグチャンピオンチーム のアカデミーチーム)
	vs
	日本高校サッカー選抜 (※ 第100 回全国高校サッカー選手権大会の 優秀選手を中心に選抜された選手で構成するチーム)



## キラリと光る「個」に注目を

Jリーグ副理事長

原 博実

Hiromi HARA

いま、Jリーグは「育成」にあらためて力を入れています。2019年には「世界でもっとも人が育つリーグ」を目指して、『Project DNA』という育成重点施策を立ち上げました。今年で13回目を数えるこのNEXT GENERATION MATCHも、出場する選手たちにとってより有意義な試合となるように、また試合を見ていただく方々により楽しんでもらえるように毎年準備をしています。

近年の川崎フロンターレは、日本代表の板倉滉や田中碧を始め、アカデミーから素晴らしい選手を輩出しています。今年のNEXT GENERATION MATCHでも、未来の利器を見つけられるはず。年末年始の高校サッカー選手権を沸かせた選手たちが中心となる日本高校サッカー選抜も、負けず劣らずの素晴らしいタレントがそろっています。

試合では、ぜひ「個」に注目してください。近年では2018年に出場した宮代大聖(現・鳥栖)、2019年に出場した櫻川ソロモン(現・千葉)、鈴木彩艶(現・浦和)といった選手が印象に残っています。いまJリーグでも頭角を現し始めている彼らは、過去にこのNEXT GENERATION MATCHでも未来の可能性を感じさせてくれました。今年出場する選手たちも、積極的にチャレンジして、キラリと光る能力の片鱗をぜひ見せてほしいと思います。

## NEXT GENERATION MATCH

### 参加選手一覧

#### 川崎フロンターレ U-18

Pos.	No.	名前	生年月日	身長 / 体重
GK	1	宮地 健輔	2004/4/30	182cm / 73kg
DF	2	戸田 将	2004/6/8	168cm / 67kg
DF	3	松長根 悠仁	2004/9/14	177cm / 74kg
DF	4	高井 幸大	2004/9/4	193cm / 84kg
DF	5	浅岡 飛夢	2004/6/30	183cm / 81kg
MF	6	吹田 航晟	2004/4/11	176cm / 73kg
DF	7	溝田 大和	2004/7/28	167cm / 60kg
MF	8	川口 達也	2004/11/9	172cm / 61kg
FW	9	五木田 季晋	2004/7/12	182cm / 71kg
MF	10	大関 友翔	2005/2/6	176cm / 58kg
MF	11	岡野一 恭平	2005/10/11	170cm / 61kg
DF	13	信澤 孝亮	2004/8/17	181cm / 72kg
MF	14	大瀧 瑩	2004/7/14	165cm / 55kg
FW	15	小林 優仁	2004/4/14	174cm / 69kg
GK	16	福田 開人	2004/5/8	178cm / 75kg
MF	17	尾川 丈	2005/8/5	170cm / 63kg
MF	18	由井 航太	2005/6/10	178cm / 62kg
GK	19	菊池 悠斗	2005/11/18	183cm / 75kg
FW	20	岡崎 實太郎	2005/4/20	173cm / 71kg
GK	21	濱崎 知康	2005/4/10	180cm / 77kg
DF	22	江原 観志	2005/8/9	170cm / 62kg
MF	23	名賀 海月	2005/6/26	161cm / 57kg
MF	24	岡田 泰輝	2005/4/4	172cm / 58kg
MF	25	志村 海里	2005/8/16	160cm / 52kg
MF	26	中原 章雅	2005/6/13	160cm / 56kg
DF	27	高橋 悠斗	2005/7/17	178cm / 67kg
FW	28	高橋 宗社	2005/4/13	174cm / 73kg
DF	29	元木 湊大	2005/7/3	170cm / 62kg
DF	30	佐藤 颯人	2005/5/6	176cm / 63kg
DF	31	田所 莉旺	2006/4/8	186cm / 75kg
DF	32	柴田 翔太郎	2006/4/17	164cm / 60kg
GK	33	山本 健翔	2006/5/7	181cm / 71kg
DF	34	山本 大輝	2006/7/4	178cm / 72kg
DF	35	土屋 耀大	2006/5/12	174cm / 65kg
DF	36	加治佐 海	2006/6/5	162cm / 60kg
MF	37	齊名 優太	2006/8/12	161cm / 50kg
MF	38	矢越 幹都	2006/5/28	160cm / 51kg
MF	39	知久 陽輝	2006/4/7	162cm / 54kg
FW	40	八田 秀斗	2006/8/18	169cm / 54kg
FW	41	香取 武	2006/5/11	166cm / 54kg
FW	42	児玉 昌太郎	2006/4/29	173cm / 68kg
FW	43	増田 陽太	2006/8/17	164cm / 64kg
監督		長橋 康弘		

#### 日本高校サッカー選抜

Pos.No.	名前	生年月日	身長 / 体重	所属チーム
GK	1	佐藤 瑠星	2003/10/24	191cm / 80kg 大津高
DF	2	田口 空我	2003/9/5	173cm / 69kg 流通経済大学付属柏高
DF	3	柳生 将太	2003/7/1	181cm / 73kg 前橋育英高
DF	4	馬場 拓己	2003/4/25	179cm / 76kg 桐光学園高
DF	5	海老沼 慶士	2003/7/10	171cm / 62kg 米子北高
MF	6	小泉 龍之介	2003/9/4	174cm / 65kg 静岡学園高
MF	7	川口 敦史	2004/2/1	175cm / 62kg 大津高
MF	8	山本 秀翔	2004/1/20	170cm / 64kg 桐光学園高
FW	9	松永 颯汰	2003/10/5	180cm / 75kg 静岡学園高
FW	10	福田 師王	2004/4/8	178cm / 70kg 神村学園高
MF	11	藤森 颯太	2003/7/17	170cm / 67kg 青森山田高
DF	12	大川 佳風	2004/9/25	171cm / 67kg 流通経済大学付属柏高
DF	13	チェイスアンリ	2004/3/24	187cm / 80kg 尚志高
FW	14	大迫 聖	2004/10/13	176cm / 67kg 神村学園高
MF	15	薬師田 滯	2003/10/17	183cm / 74kg 大津高
MF	16	田澤 夢積	2003/10/1	168cm / 68kg 青森山田高
GK	17	吉田 優翔	2003/8/29	185cm / 72kg 桐光学園高
FW	18	守屋 練太郎	2004/1/12	178cm / 67kg 前橋育英高
MF	19	根津 元輝	2004/5/30	173cm / 69kg 前橋育英高
MF	20	飯田 澤哉	2004/5/11	170cm / 64kg 東山高
DF	21	佐々木 奈琉	2003/7/13	170cm / 62kg 帝京長岡高
DF	22	川副 泰樹	2003/8/12	177cm / 68kg 大津高
GK	23	鮎澤 太陽	2004/4/21	180cm / 76kg 尚志高
監督		仲村 浩二		

# スマホから 大切な今を取り出そう。

スマホの中の写真は、どれも特別な瞬間。

でも、そのまま残しておく、どんどん増えて埋もれてしまうことに。

全国のセブン-イレブンにあるマルチコピー機なら、

専用アプリを使って、24時間らくらく写真プリント。

かけがえのない今をすぐにカタチに残せます。



全国のセブン-イレブン店頭マルチコピー機で、スマホの写真や文書をいつでもプリント。



ネットプリント | チケットサービス | 行政サービス

ほかにもサービスいろいろ! マルチコピー機

詳しくはこちら



# EVENT INFORMATION

ご来場者限定!



## 1 Jリーグ公式アプリ Club J.LEAGUE スタジアムチェックインキャンペーン

Jリーグ公式アプリ「Club J.LEAGUE」では本日の試合使用球などが抽選で当たるキャンペーンを実施しています。

アプリで川崎フロンターレもしくは浦和レッズをお気に入り登録のうえ、スタジアムでチェックインを行い、前半キックオフまでにご応募下さい。(ニュースメニュー内、またはメダルメニュー内キャンペーン一覧などからご参加いただけます)

当選者はハーフタイムにスタジアムビジョンや、アプリ PUSH 通知および、アプリニュースタブ上部のお知らせ欄にて発表いたします。(賞品は後日、登録いただいた発送先にお送りいたします)



- A 賞 本日の試合使用球 1 名様
- B 賞 対戦記念グッズセット 10 名様
- C 賞 Club J.LEAGUE オリジナルトートバッグ 20 名様



## 2 FUJIFILM SUPER CUP2022 フードドライブ

Jリーグ社会連携(シャレン!)では、特別協賛の富士フイルムビジネスイノベーション株式会社、環境省、横浜市、川崎フロンターレ、浦和レッズとの協働で「フードドライブ」を実施します。食品をご提供いただいた方先着 1,000 名に「サックスカード」をお渡しします。提供いただいた食品は試合会場のある横浜市および両クラブを通じてホームタウンの団体に寄付されます。

【実施場所】東ゲート広場 / 西ゲート広場

【実施時間】9:00 ~キックオフ(13:35)まで

【提供いただきたい食品】

- ・賞味期限が明記され、2 か月以上あるもの
- ・常温で保存できるもの
- ・未開封のもの

(例:穀類(米、小麦粉など)、缶詰、インスタント・レトルト食品、お菓子、調味料、乾物(乾麺、海藻など)、飲料)

※フードドライブとは、家庭で余っている食品を集め、それらをまとめて地域の福祉施設や団体などに寄贈する活動です。

## Jリーグクラウドファンディング

Jリーグは主管試合で「TEAM AS ONE 募金」を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためスタジアムでの募金活動は見送り、クラウドファンディングを活用し、サイト上に募金箱を設置しています。お預かりした募金は、被災地のニーズを勘案した物資の寄贈、被災地訪問、被災地からのご招待などに活用させていただきます。

皆様からの温かいご支援ご協力のほど、よろしくお願いたします。



Q Jリーグクラウドファンディング

## 3 Jリーグ・クラブの mascots が大集合!



2年ぶりにJリーグ・クラブの mascots が一堂に会します。「Jリーグ mascots 総選挙 2022」トップ3 発表や mascots による運動会を実施いたします。全国各地からやってくる mascots たちの熱い!? 戦いにご期待下さい。

【実施時間】

9:30 ~:ピッチ上からスタンドの皆様にご挨拶(来場全 mascots / 予定)

11:50 ~:もふ撮! with J mascots 撮影(イベントチケットご購入様向け ※)

ハーフタイム: Jリーグ mascots 総選挙 2022 トップ3 発表

15:45 ~ (予定): Jリーグ mascots 大運動会

※天候によってはイベント中止の可能性がございます。

※ mascots 大運動会はバックスタンド側を中心に実施予定です。

※お持ちのチケットの座席から移動することを禁止とします。

## 4 大会記念グッズ



今年の大会記念グッズは、両クラブのカラーやエンブレムで対決感を表した対戦記念デザインとなっております。

【販売場所】3 か所(東広場・西広場・コンコース 4F)

【販売時間】9:00 ~試合終了 ※コンコース 4F は 9:30 より



## 5 全クラブユニフォーム展示

2022 シーズンの Jリーグ全クラブユニフォームを展示いたします。

【日時】2022 年 2 月 12 日(土) 9:00 (予定) ~キックオフまで

【展示場所】東ゲート広場

## 6 転スラコラボフォトスポット

コラボイベントとしてフォトスポットを実施。キャラクターとの写真撮影をお楽しみください。

【実施場所】場内 4F コンコース

2 か所(E12-W13 付近)

【実施時間】開門~試合終了後まで



## 7 記念撮影ボード(カップ展示)

【実施場所】場内 4F コンコース

バックスタンド側 1 か所

(E15 付近)

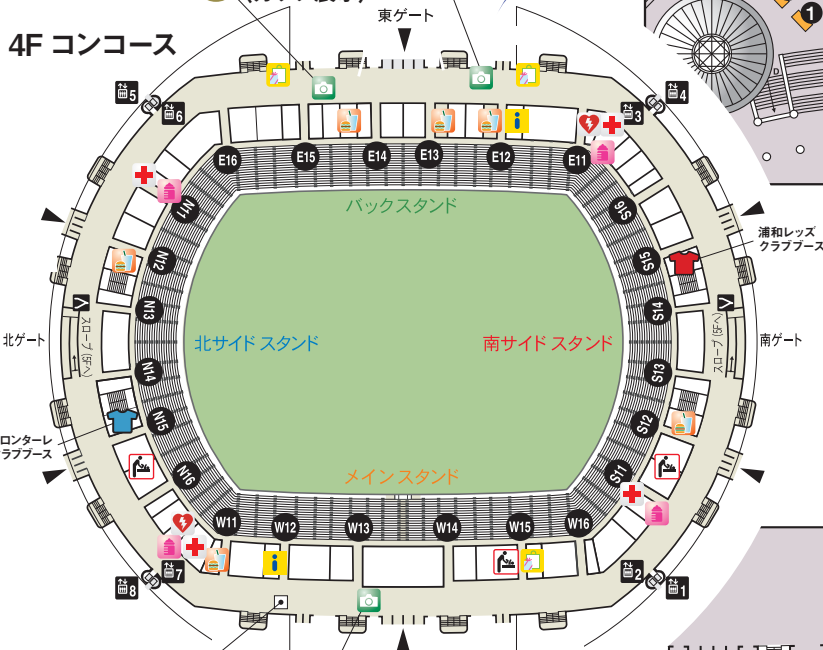
【実施時間】開門~HT 終了まで

【カップ展示時間】10:30 ~ 12:30

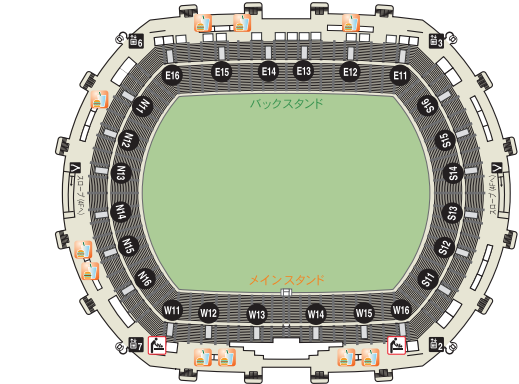


-  総合案内所
-  飲食売店
-  浦和レッズクラブブース
-  乳幼児優先トイレ
-  Jリーググッズ売店
-  川崎フロンターレクラブブース
-  授乳室
-  フォトスポット
-  授乳室
-  AED

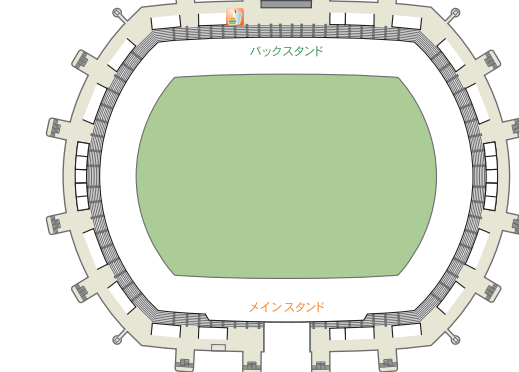
4F コンコース



5F コンコース



6F コンコース



8 スタグルフェス

ご来場いただいた皆様にJリーグのシーズン開幕をお楽しみいただくべく、J1・J2・J3クラブのスタジアムグルメを販売するイベント「スタグルフェス」を開催いたします。全国各地に広がるJリーグのスタジアムやホームタウンに行かなければ食べることのできないグルメの数々が、集結いたします。スタジアムでしか味わえない「出来立てのグルメ」をお楽しみください。

実施時間 9:00 ~ 試合終了後1時間予定



- |                                 |                               |   |
|---------------------------------|-------------------------------|---|
| 1 浦和レッズ<br>ケバブサンド               | 8 AC長野パルセイロ<br>信州牛串           | 20 名古屋グランパス<br>クラブバスバーガー                    |
| 2 川崎フロンターレ<br>牛カルビピッツァ(食べ歩きサイズ) | 9 水戸ホーリーホック<br>濃厚鶏そばレモンのチカラ   | 21 清水エスパルス<br>富士宮やきそば                       |
| 3 モンテディオ山形<br>もつ煮込み             | 10 湘南ベルマーレ<br>しらすとビーフのランチボックス | 22 ジェフユナイテッド千葉<br>喜作のソーセージ盛                 |
| 4 ファジアーノ岡山<br>作州黒豚焼餃子           | 11 FC町田ゼルビア<br>町田餃子と麻婆丼       | 23 栃木SC<br>ブラジル丼                            |
| 5 徳島ヴォルティス<br>米粉チュロス(阿波三盆糖味)    | 12 FC東京<br>肉山の肉弁当             | 24 ガンバ大阪<br>くくるの大たこ入りたこ焼                    |
| 6 サガン鳥栖<br>ガスボ- 超ロング粗挽きウインナー    | 13 FC岐阜<br>手作り飛騨牛コロッケ         | 25 福島ユナイテッドFC<br>いもくり佐太郎                    |
| 7 ロアソン熊本<br>ロアッくん・くまモンのパン       | 14 柏レイソル<br>レイソルカレー           | 26 カマタマーレ讃岐<br>カマコロ                         |
| 8 大分トリニータ<br>豊後かぼすから揚げ          | 15 横浜FC<br>白玉入り黒ごま汁粉ロティ       | 27 ヴァンフォーレ甲府<br>青春のトマト焼そば                   |
| 9 横浜F・マリノス<br>ストロベリーパブルワッフル     | 16 鹿島アントラーズ<br>やきいも           | 28 セレッソ大阪<br>秘伝のからあげ                        |
| 10 ブラウブリッツ秋田<br>由利牛巻きたんぼ        | 17 ザスパクサツ群馬<br>上州まぜそば         | 29 東京ヴェルディ<br>あいがけ(mahanaカレー<br>& 白ごま坦担ボーク) |
| 11 FC今治<br>今治焼豚玉子飯              | 18 ベガルタ仙台<br>牛たん焼             |   |
| 12 V・ファアレン長崎<br>長崎角煮バーガー        | 19 大宮アルディージャ<br>オールサイトマラーメン   |   |

# そのころまだ、 サポーターという言葉は、なかった。

私たちが、サッカーの協賛を始めたのは、1970年。

Jリーグが発足し、「サポーター」という言葉が生まれる20年以上も前から、

「全国高校サッカー選手権」や「スーパーカップ」などを通じて、日本のサッカーを応援し続けています。

世界でもっともポピュラーで、多くの人たちに親しまれているスポーツ、サッカー。

そんなサッカーが日本でも根付き、人と人とのコミュニケーションをより豊かなものになりたいという願いを込めて、私たちはサポートを続けてきました。

これからも私たちは、様々な形でサッカーというスポーツを応援していきたいと思えます。

サッカーを愛する、ひとりのサポーターとして。



**FUJIFILM**  
Value from Innovation

私たちは、「FUJIFILM SUPER CUP 2022」をサポートしています。

本大会は、富士フイルムビジネスイノベーションが保有する「グリーン電力証書」を活用し、会場の電力使用を再生可能エネルギーでまかなうことで、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいます。

富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社 [fujifilm.com/fb](http://fujifilm.com/fb)